

高津区区民生活に関わる ニーズ調査

概要版



調査概要

調査目的	高津区が執行する事業について、区民ニーズを的確に把握し、効率的、効果的に執行するため、「区民がどのような施策・事業を執行してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業をどのように評価しているのか」について、アンケート調査を実施する。
調査の地域	川崎市高津区全域
調査の対象者	川崎市高津区在住の満20歳以上の男女個人(外国人含む)
標本の抽出	平成24年9月現在の住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
標本数	1,006 サンプル
調査方法	郵送配布郵送回収法
調査期間	平成24年10月1日(月)~11月30日(金)
調査委託機関	株式会社 総合企画



川崎市高津区役所企画課

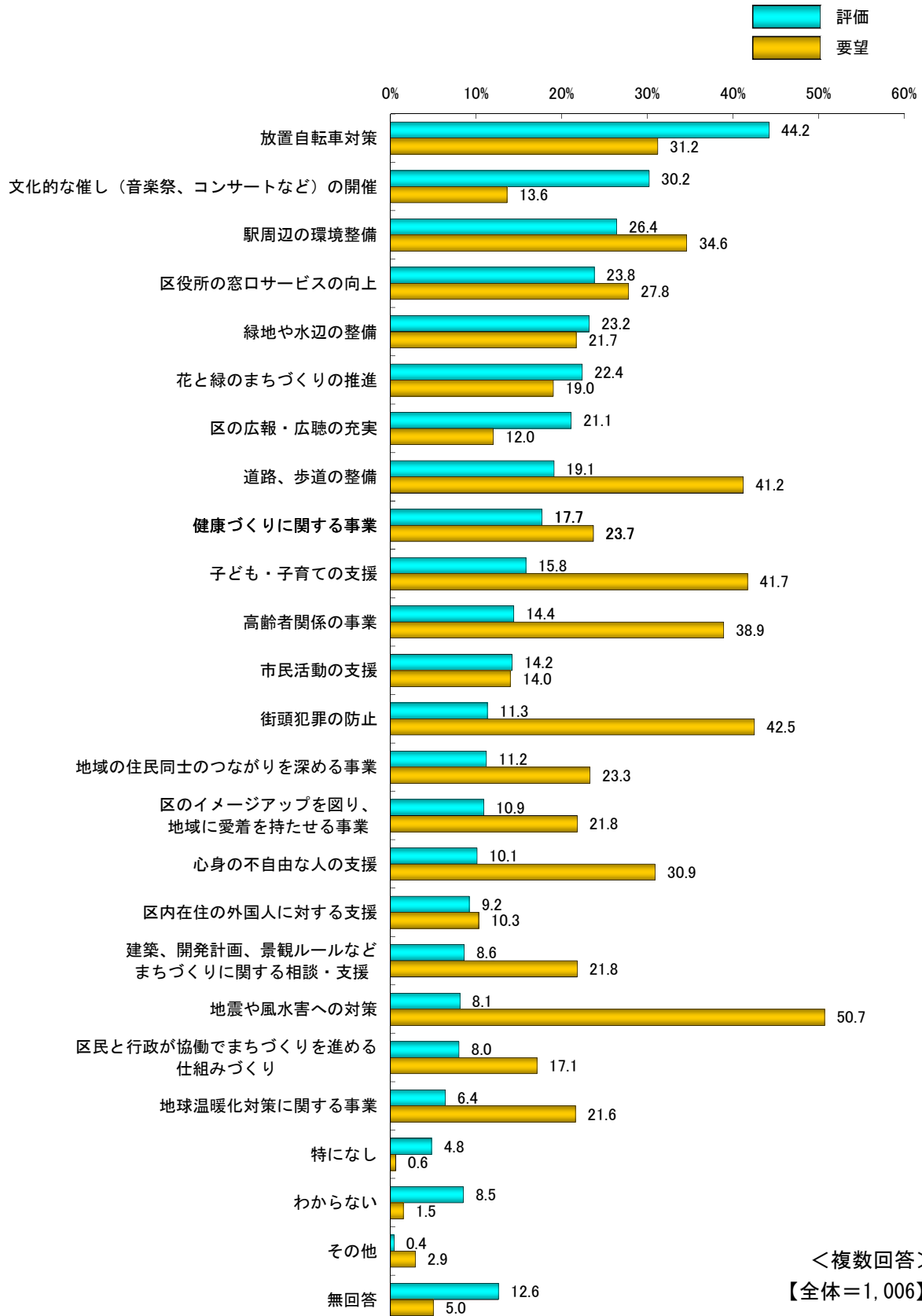
〒213-8570 川崎市高津区下作延2-8-1

高津区 TEL 044-861-3131

区役所業務の評価と要望

評価が要望より上回る業務は「文化的な催し（音楽祭、コンサートなどの開催）」、「放置自転車対策」、「区の広報・公聴の充実」、「花と緑のまちづくりの推進」、「緑地や水辺の整備」となった。

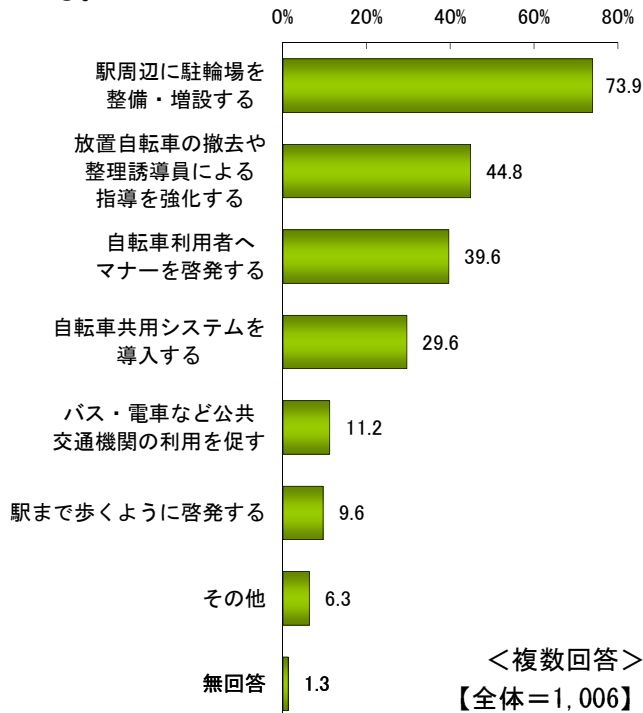
一方、要望が評価より上回るもので目立つ業務は「地震や風水害への対策」、「街頭犯罪の防止」、「子ども・子育ての支援」、「高齢者関係の事業」である。



区の施策の手法

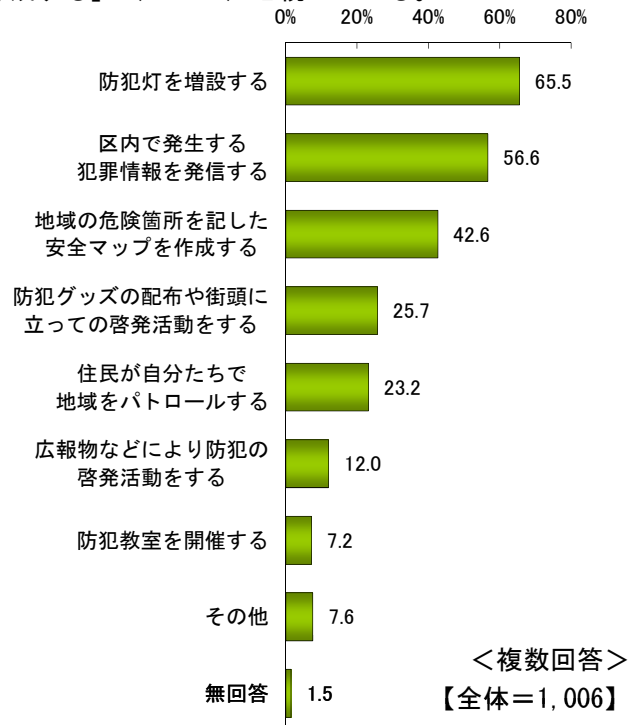
<放置自転車対策>

「駅周辺に駐輪場を整備・増設する」(73.9%)が7割を超えて最も高く、次いで「放置自転車の撤去や整理誘導員による指導を強化する」(44.8%)が続いている。



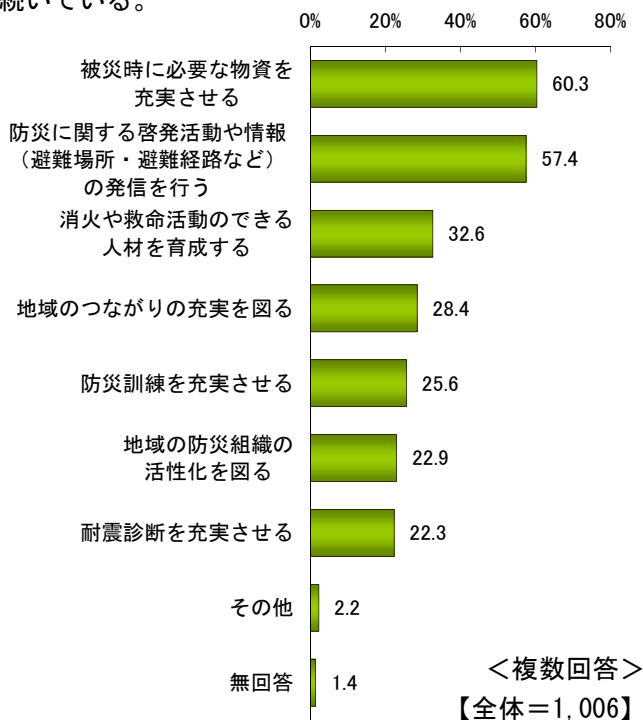
<街頭犯罪防止対策>

「防犯灯を増設する」(65.5%)が最も高く、次いで「区内で発生する防犯情報を発信する」(56.6%)、「地域の危険箇所を記した安全マップを作成する」(42.5%)が続いている。



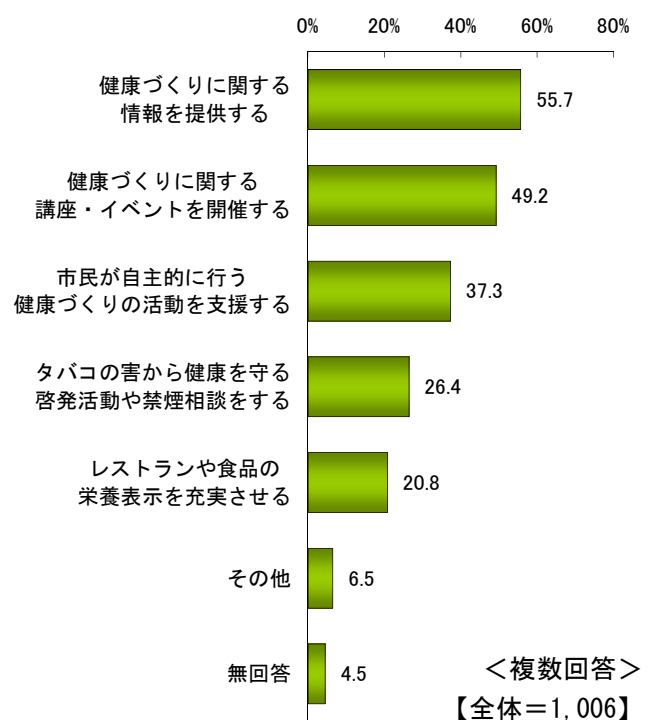
<地震や風水害対策>

「被災時に必要な物資を充実させる」(60.3%)が最も高く、次いで「防災に関する啓発活動や情報(避難場所・避難経路など)の発信を行う」(57.4%)が続いている。



<健康推進>

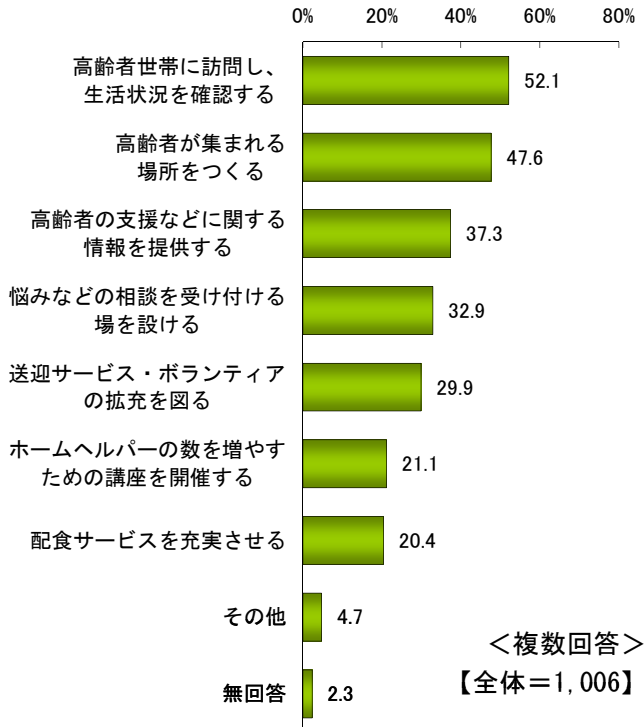
「健康づくりに関する情報を提供する」(55.7%)が最も高く、次いで「健康づくりに関する講座・イベントを開催する」(49.2%)が続いている。



区の施策の手法

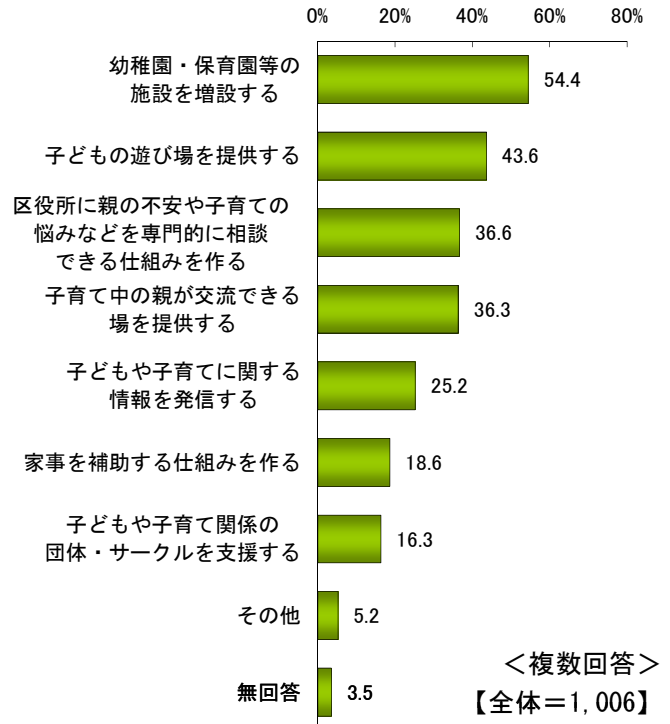
<高齢者支援>

「高齢者世帯に訪問し、生活状況を確認する」(52.1%)が最も高く、次いで「高齢者が集まれる場所をつくる」(47.6%)、「高齢者の支援などに関する情報を提供する」(37.3%)と続いている。



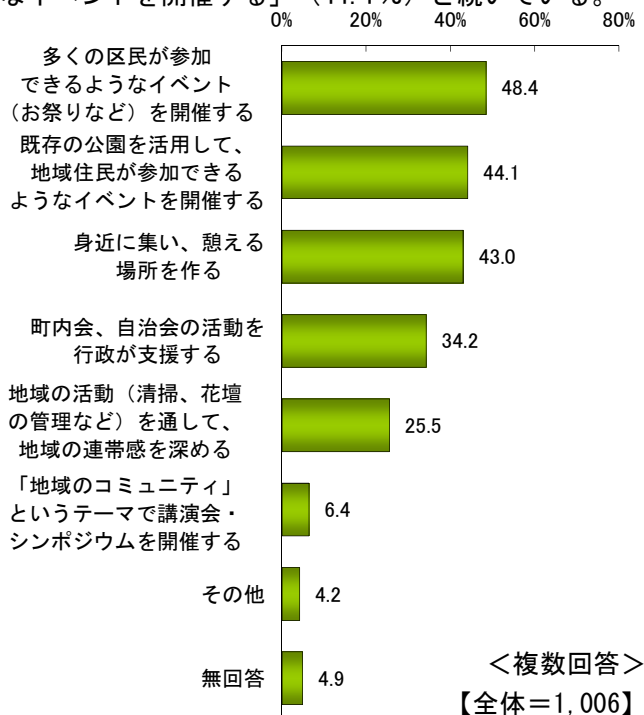
<子育て支援>

「幼稚園・保育園等の施設を増設する」(54.4%)が最も高く、次いで「子どもの遊び場を提供する」(43.6%)と続いている。



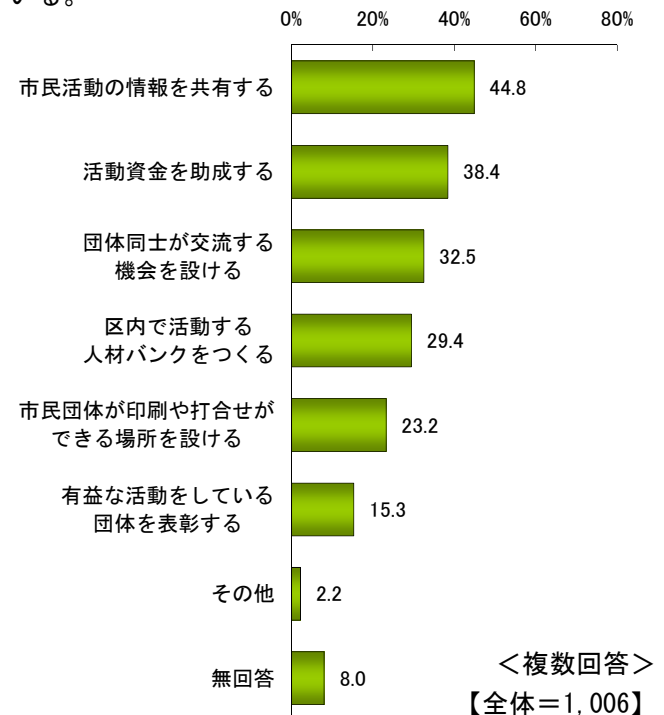
<地域住民のつながりを深める手法>

「多くの区民が参加できるようなイベント（お祭りなど）を開催する」(48.4%)が最も高く、次いで「既存の公園を活用して、地域住民が参加できるようなイベントを開催する」(44.1%)と続いている。



<市民活動支援>

「市民活動の情報を共有する」(44.8%)が最も高く、次いで「活動資金を助成する」(38.4%)、「団体同士が交流する機会を設ける」(32.5%)と続いている。



区の施策の手法

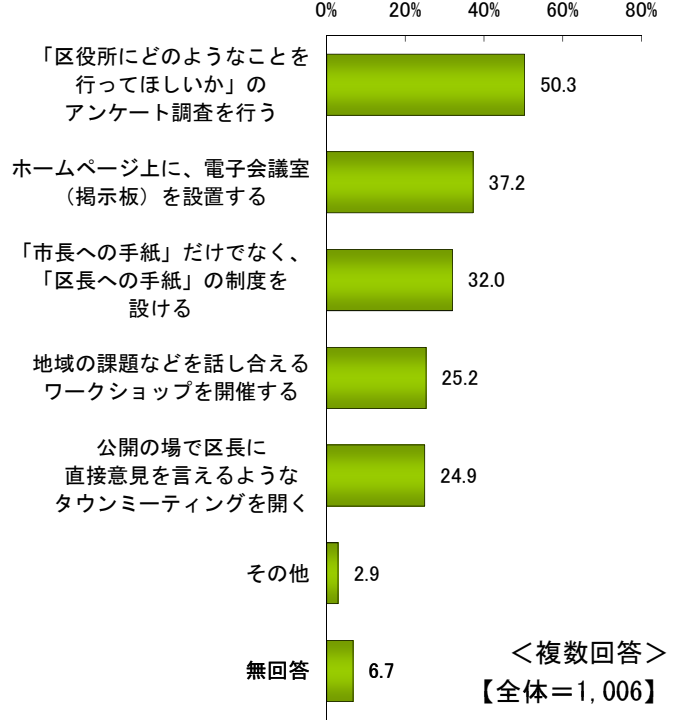
<区の情報提供>

「市政だより区版を拡充する」(42.5%)が最も高く、次いで「ホームページを充実させる」(36.3%)、「区の地図や主要施設を掲載したパンフレットを充実させる」(29.1%)と続いている。



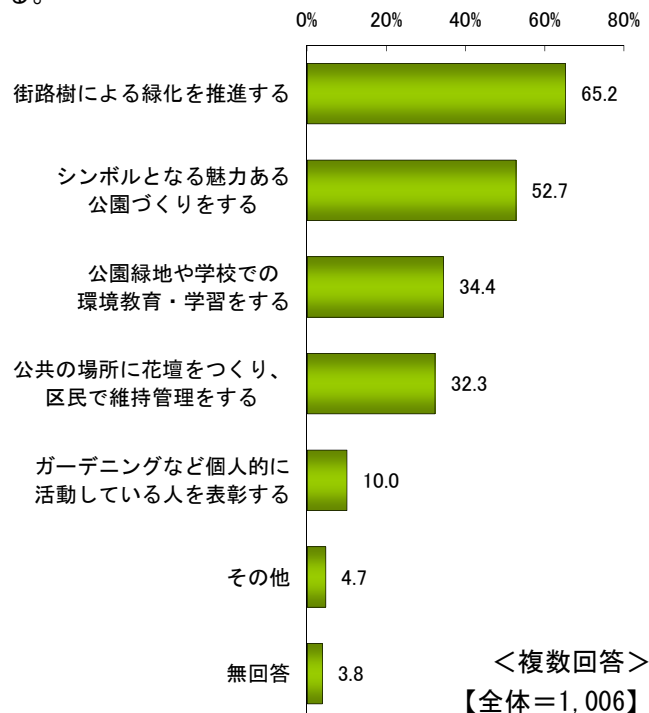
<区民の要望収集>

「『区役所にどのようなことを行ってほしいか』のアンケート調査を行う」(50.3%)が5割を超えて最も高く、次いで「ホームページ上に、電子会議室(掲示板)を設置する」(37.2%)と続いている。



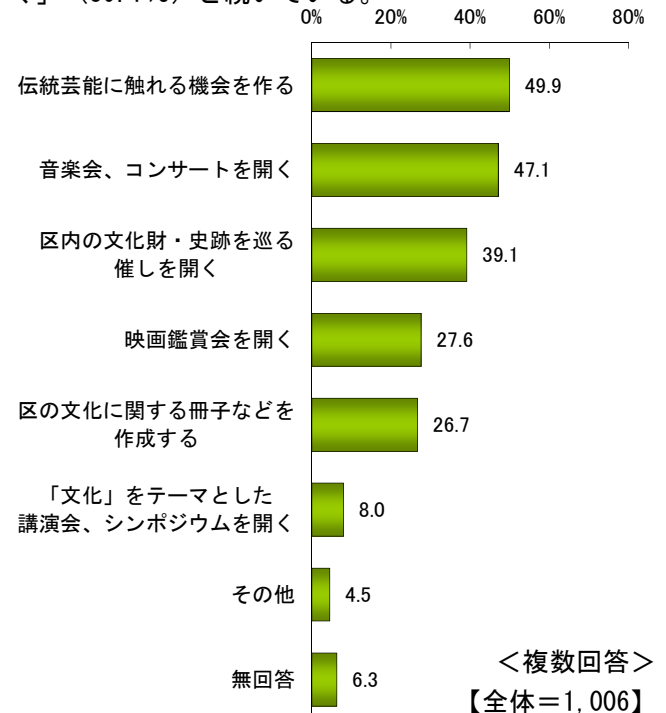
<花と緑のまちづくり推進>

「街路樹による緑化を推進する」(65.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「シンボルとなる魅力ある公園づくりをする」(52.7%)が5割台で続いている。



<区の文化の振興>

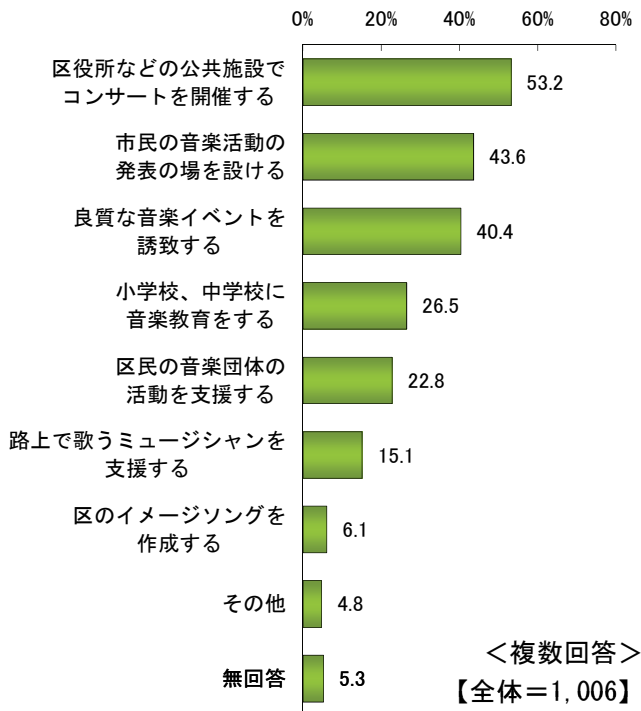
「伝統芸能に触れる機会を作る」(49.9%)が最も高く、次いで「音楽会、コンサートを開く」(47.1%)、「区内の文化財・史跡を巡る催しを開く」(39.1%)と続いている。



区の施策の手法

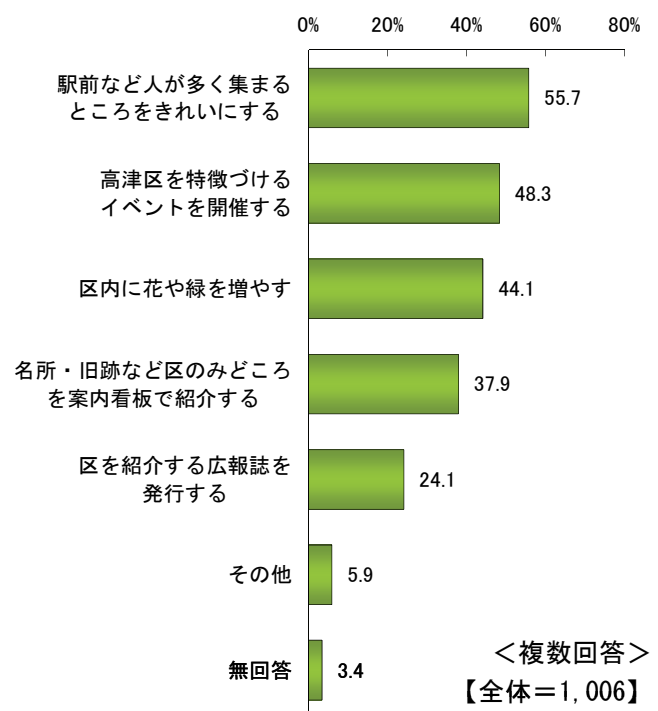
<「音楽のまち」推進>

「区役所などの公共施設でコンサートを開催する」(53.2%)が最も高く、次いで「市民の音楽活動の発表の場を設ける」(43.6%)、「良質な音楽イベントを誘致する」(40.4%)と続いている。



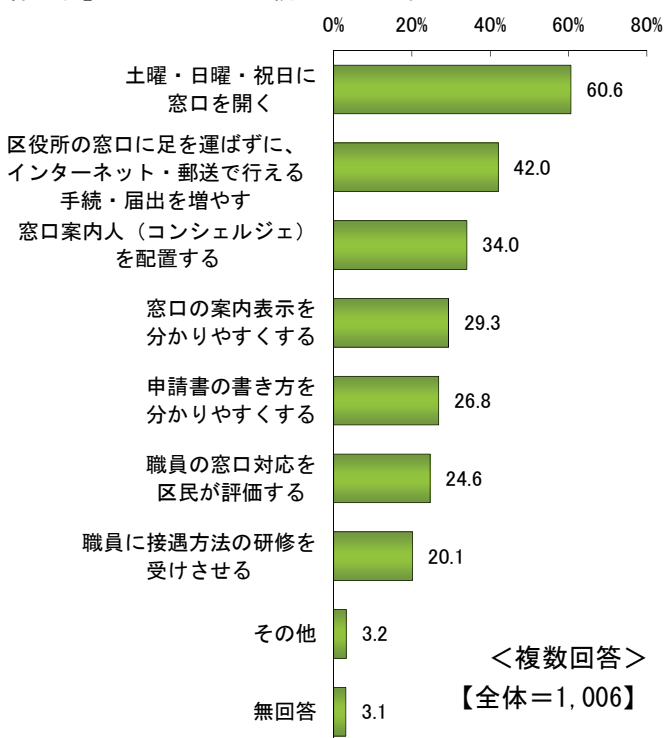
<区のイメージアップ>

「駅前など人が多く集まる場所をきれいにする」(55.7%)が最も高く、次いで「高津区を特徴づけるイベントを開催する」(48.3%)、「区内に花や緑を増やす」(44.1%)と続いている。



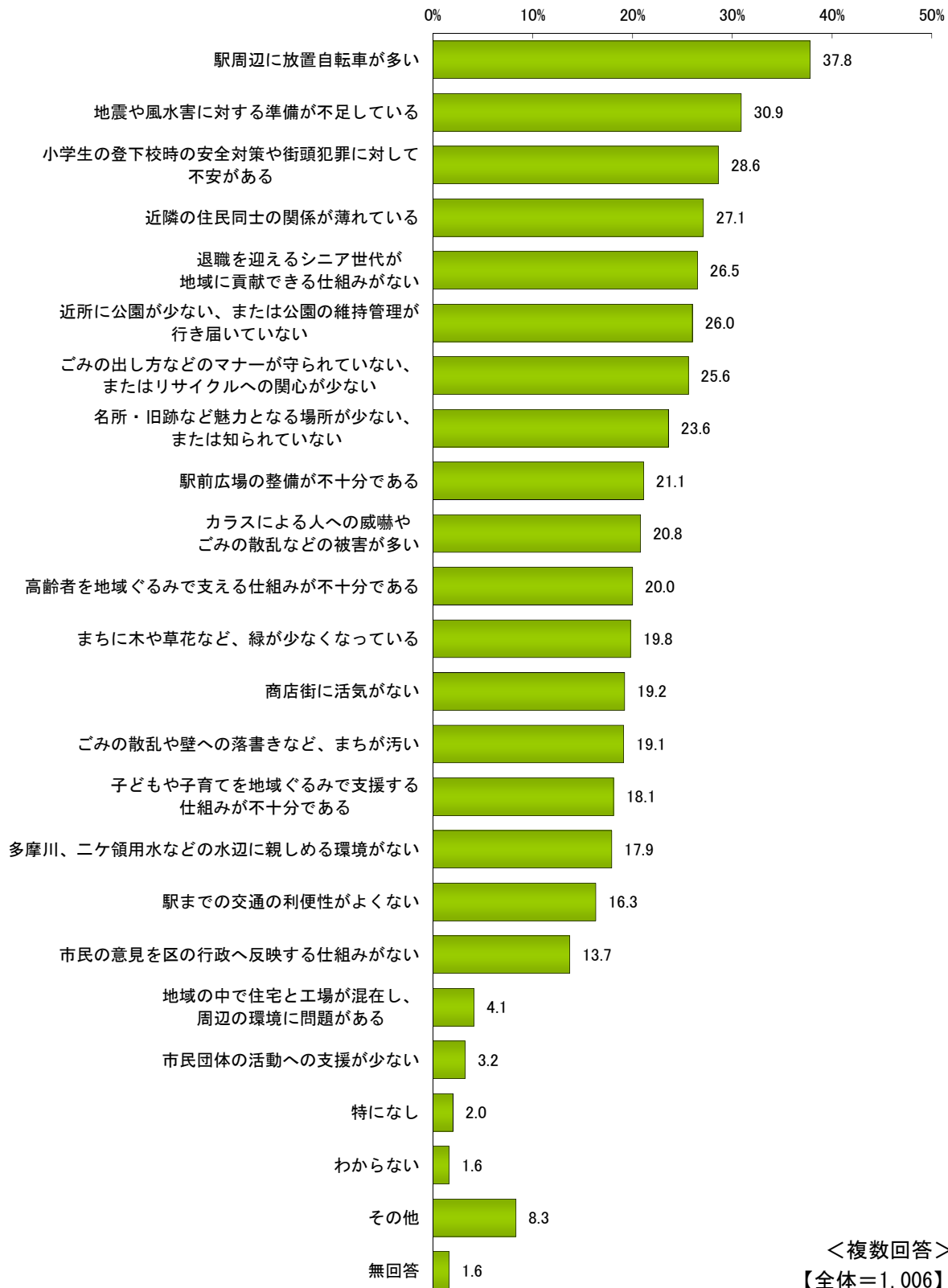
<区役所の窓口サービス向上>

「土曜・日曜・祝日に窓口を開く」(60.6%)が6割を超えて最も高く、次いで「区役所の窓口で足を運ばずに、インターネット・郵送で行える手続・届出を増やす」(42.0%)と続いている。



まちの課題・問題点

「駅周辺に放置自転車がが多い」が37.8%と最も高く、次いで、「地震や風水害に対する準備が不足している」(30.9%)、「小学生の登下校時の安全対策や街頭犯罪に対して不安がある」(28.6%)、「近隣の住民同士の関係が薄れている」(27.1%)、「退職を迎えるシニア世代が地域に貢献できる仕組みがない」(26.5%)、「近所に公園が少ない、または公園の維持管理が行き届いていない」(26.0%)と続いている。



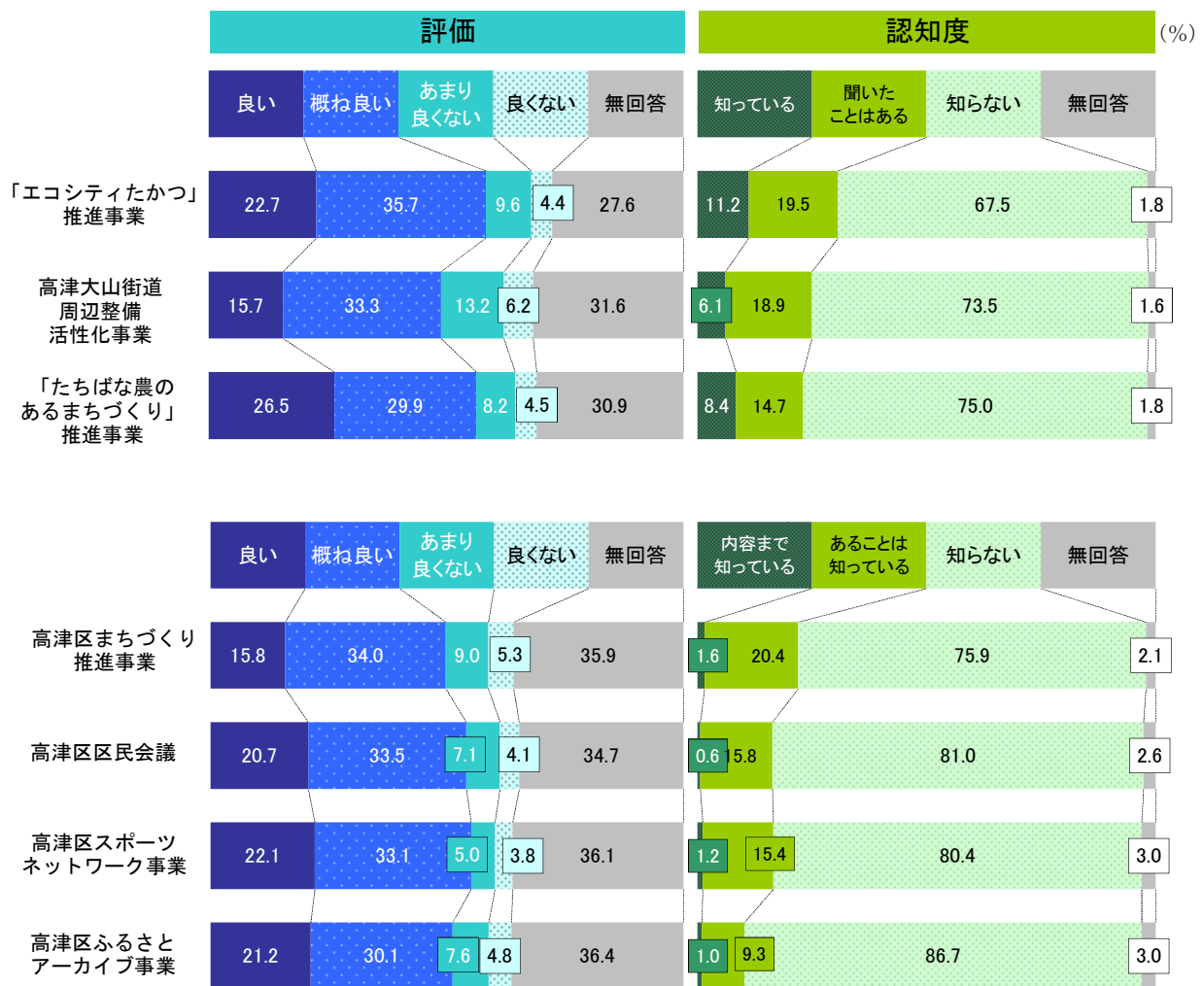
<複数回答>
【全体=1,006】

区事業の評価と認知・閲覧・参加度

事業の評価では「良い」または「概ね良い」という回答の合計をみると、「『エコシティたかつ』推進事業」（58.4%）が最も高く、次いで「『たちばな農のあるまちづくり』推進事業」（56.4%）、「高津区スポーツネットワーク事業」（55.2%）と続いている。

事業の認知度では「内容まで知っている」または「聞いたことはある」という回答の合計をみると、「『エコシティたかつ』推進事業」が30.7%と最も高い。

また、「内容まで知っている」または「あることは知っている」という回答の合計をみると、「高津区まちづくり推進事業」が22.0%と最も高い。



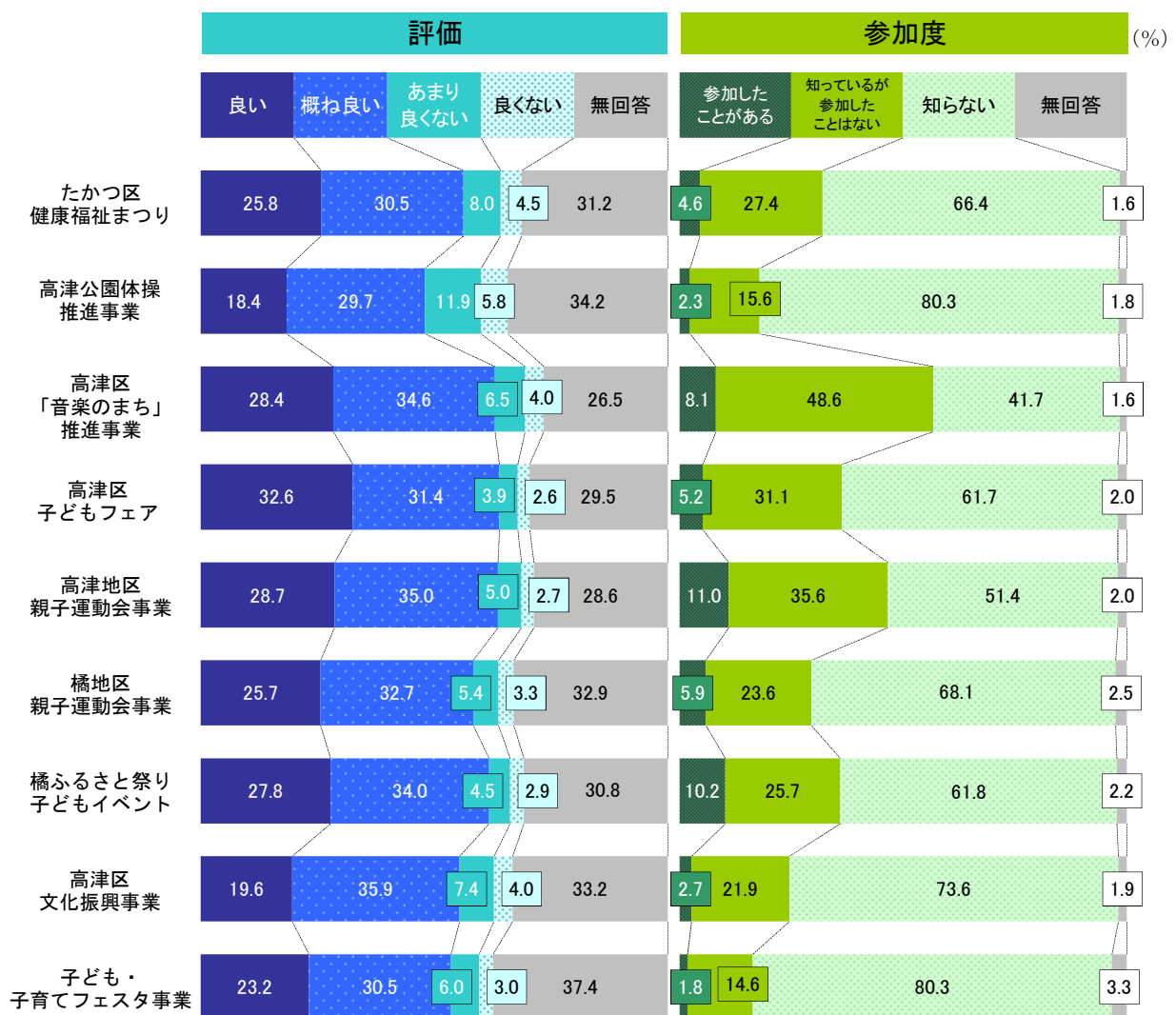
【全体=1,006】

区事業の評価と認知・閲覧・参加度

事業の評価では「良い」または「概ね良い」という回答の合計をみると、「高津区子どもフェア」（64.0%）が最も高く、次いで「高津区親子運動会事業」（63.7%）、「高津区『音楽のまち』推進事業」（63.0%）と続いている。

事業の参加度では「参加したことがある」という回答をみると、「高津区親子運動会事業」（11.0%）が最も高い。

「知っているが参加したことはない」では「高津区『音楽のまち』推進事業」（48.6%）が最も高く、次いで「高津地区親子運動会事業」（35.6%）と続いている。

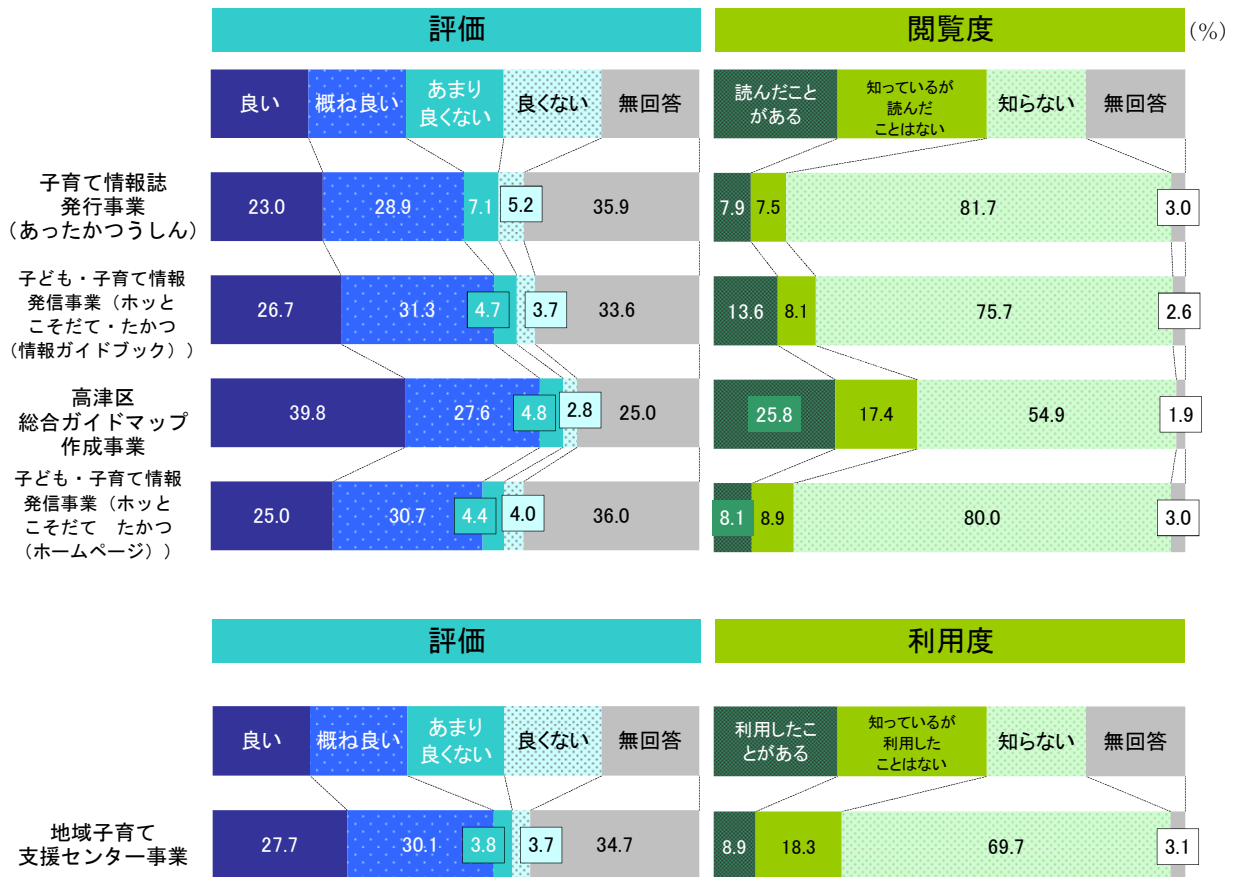


【全体=1,006】

区事業の評価と認知・閲覧・参加度

事業の評価では「良い」または「概ね良い」という回答の合計をみると、「高津区総合ガイドマップ作成事業」(67.4%)が最も高く、次いで「子ども・子育て情報発信事業(ホッとこそだて・たかつ(情報ガイドブック))」(58.0%)、「地域子育て支援センター事業」(57.8%)と続いている。

事業の閲覧度では「読んだことがある」で「高津区総合ガイドマップ作成事業」が25.8%と最も高くなっている。

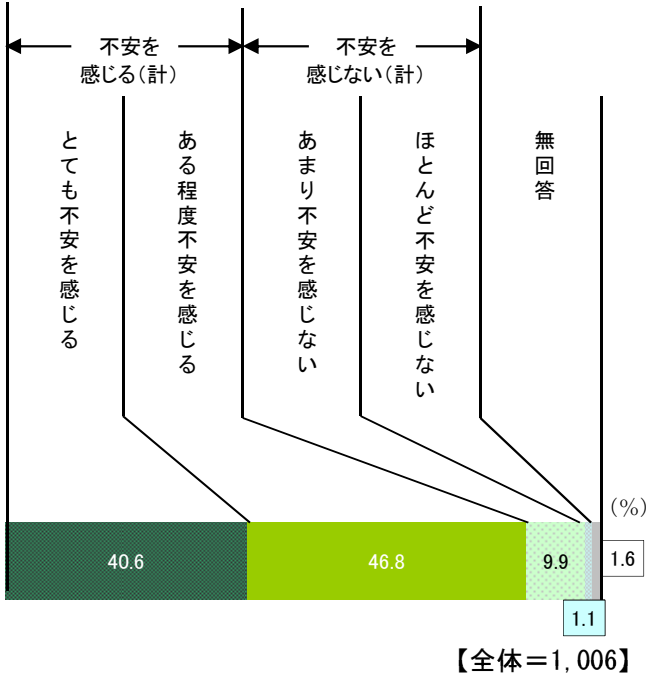


【全体=1,006】

地域防災について

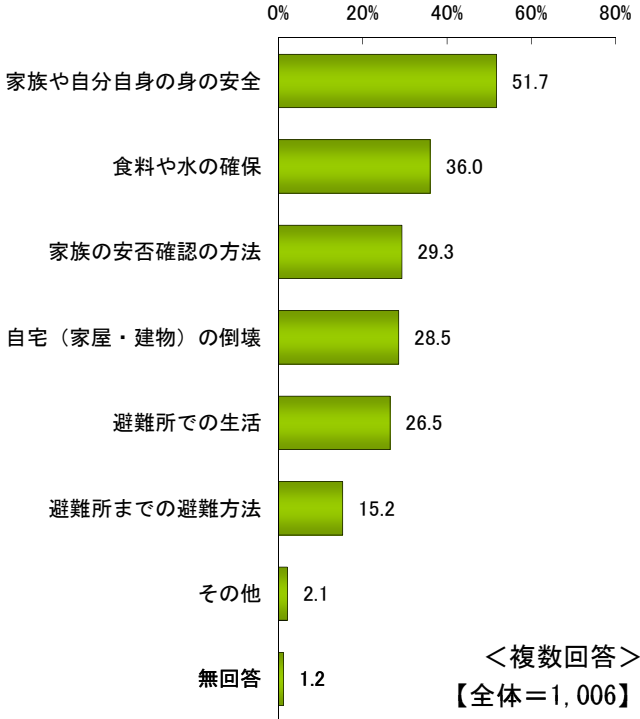
<大規模地震発生時の「不安度」>

「ある程度不安を感じる」(46.8%)が最も高く、「とても不安を感じる」または「ある程度不安を感じる」という回答の合計『不安を感じる(計)』は87.4%となっている。



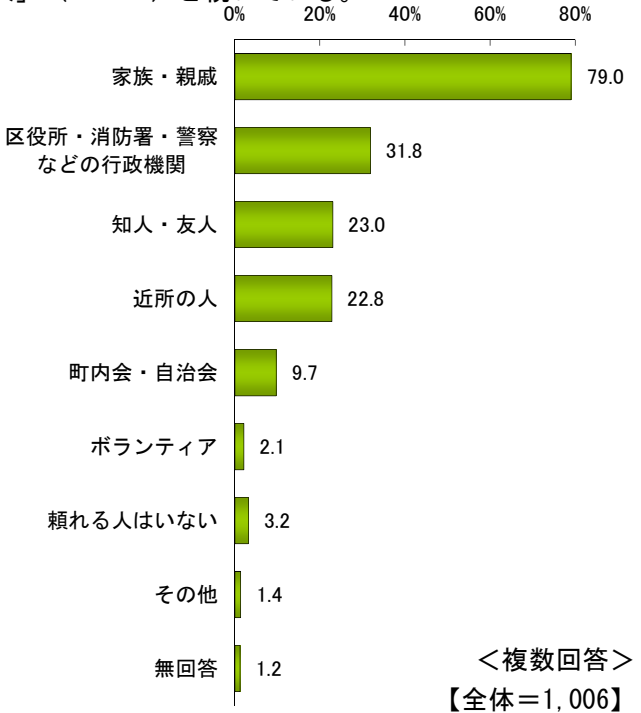
<大規模地震発生時の「不安内容」>

「家族や自分自身の身の安全」(51.7%)が5割を超えて最も高く、次いで「食料や水の確保」(36.0%)、「家族の安否確認の方法」(29.3%)と続いている。



<大規模地震発生後に「頼る人」>

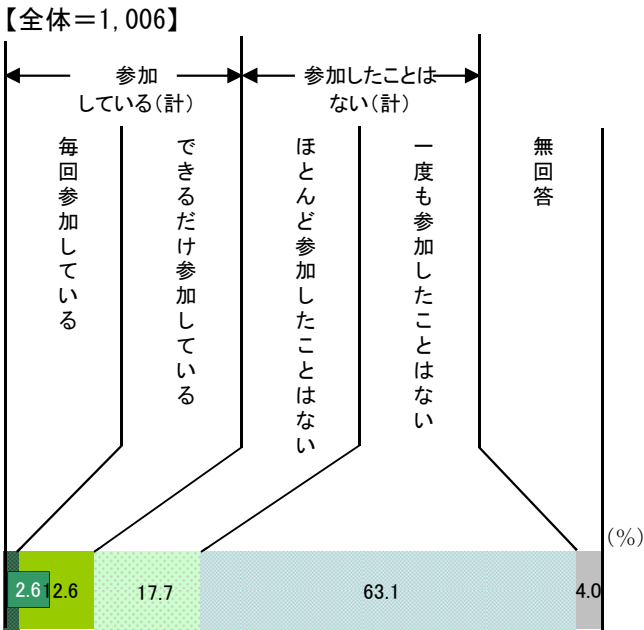
「家族・親戚」(79.0%)が7割台で最も高く、次いで「区役所・消防署・警察などの行政機関」(31.8%)、「知人・友人」(23.0%)、「近所の人」(22.8%)と続いている。



地域防災について

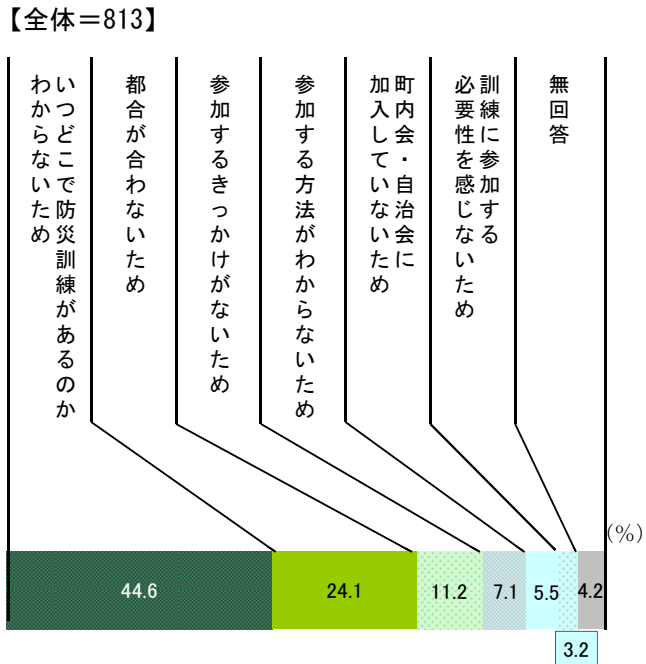
<町内会・自治会主催の防災訓練参加有無>

「毎回参加している」または「できるだけ参加している」という回答の合計『参加している(計)』は15.2%となり、対して「ほとんど参加したことはない」または「一度も参加したことはない」という回答の合計『参加したことはない(計)』は80.8%となっている。



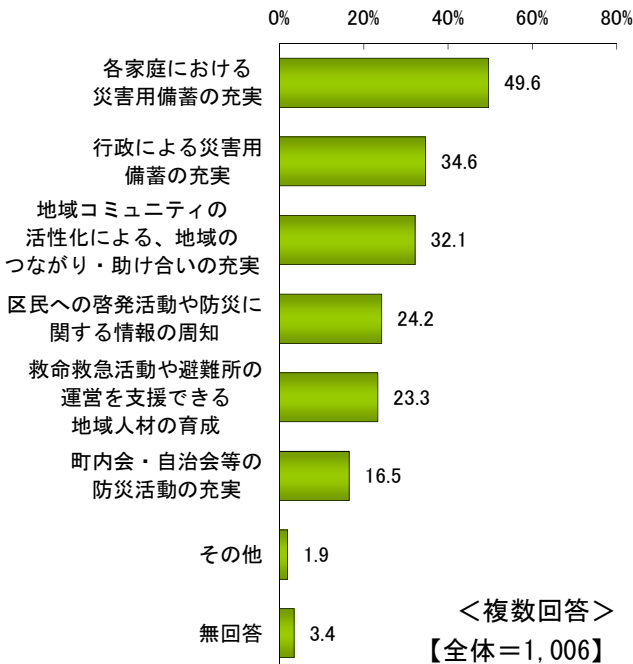
<防災訓練に参加しない理由>

「いつどこで防災訓練があるのかわからないため」(44.6%)が4割を超えて最も高く、次いで「都合が合わないため」(24.1%)と続いている。



<防災力を高めるために必要なこと>

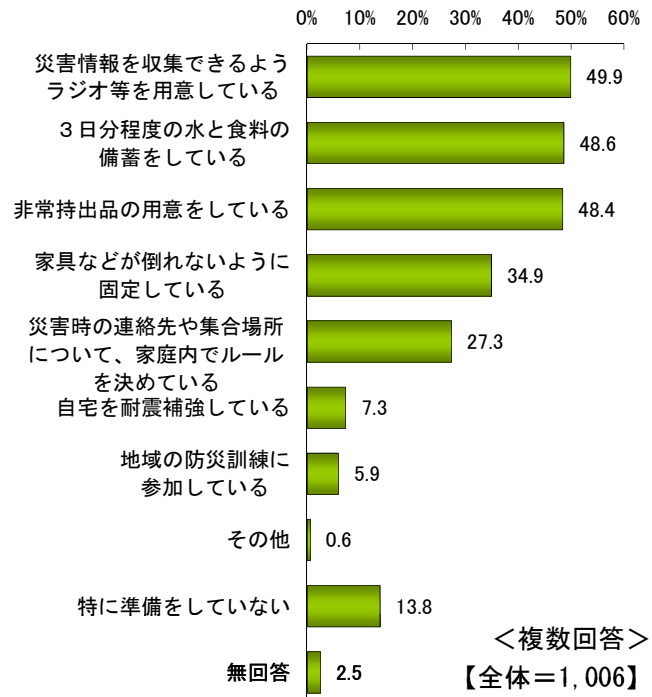
「各家庭における災害用備蓄の充実」(49.6%)が最も高く、次いで「行政による災害用備蓄の充実」(34.6%)、「地域コミュニティの活性化による、地域のつながり・助け合いの充実」(32.1%)と続いている。



地域防災について

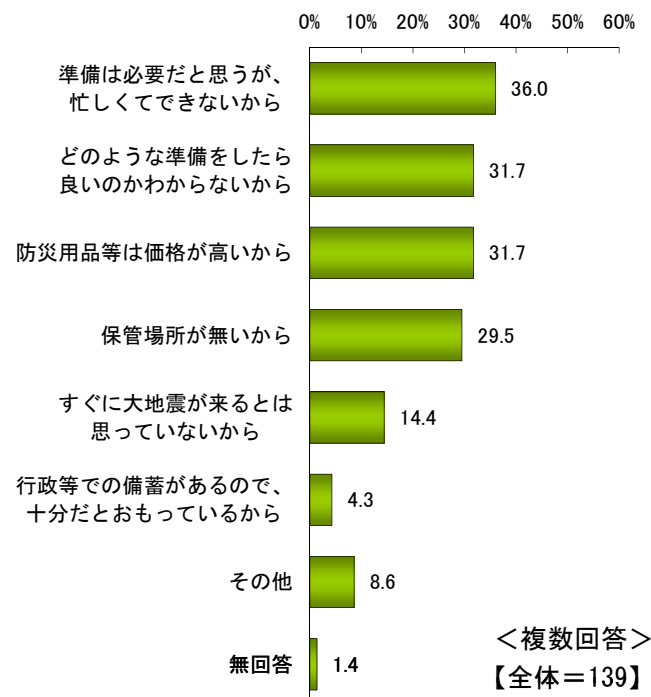
<大規模地震発生への備え>

「災害情報を収集できるようにラジオ等を用意している」(49.9%)、「3日分程度の水と食料の備蓄をしている」(48.6%)、「非常持出品の用意をしている」(48.4%)が4割台となっている。



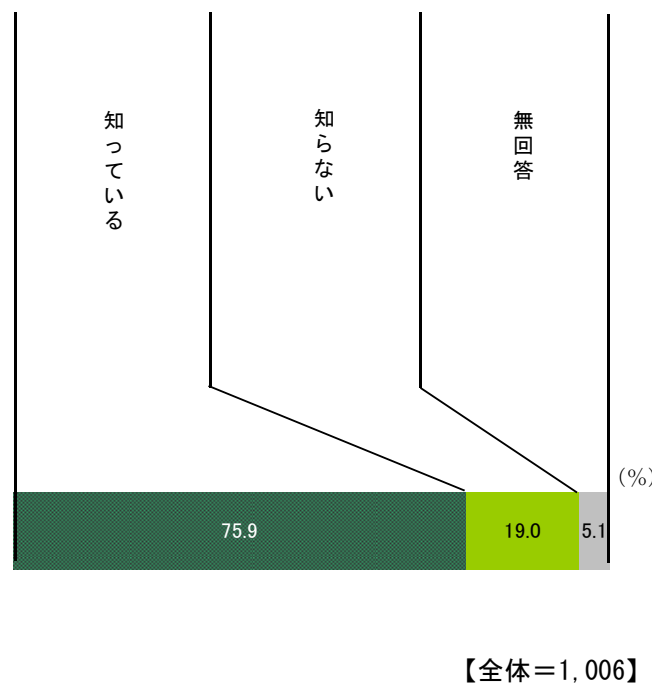
<特に準備をしていない理由>

「準備は必要だと思うが、忙しくてできないから」(36.0%)が最も高く、「どのような準備をしたら良いかわからないから」(31.7%)と「防災用品等は価格が高いから」(31.7%)が同率で続いている。



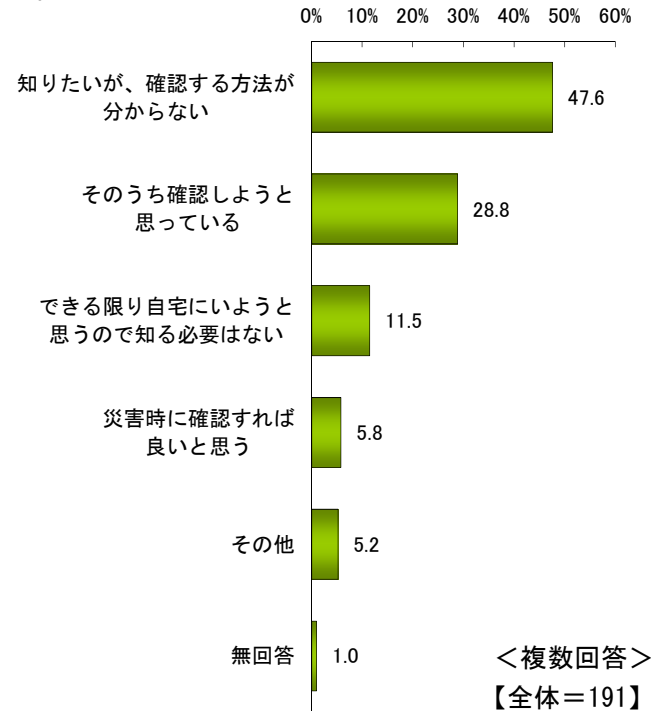
<最寄りの避難所の認知>

「知っている」が75.9%と7割を超えている。



<避難所を知らないことについての意識>

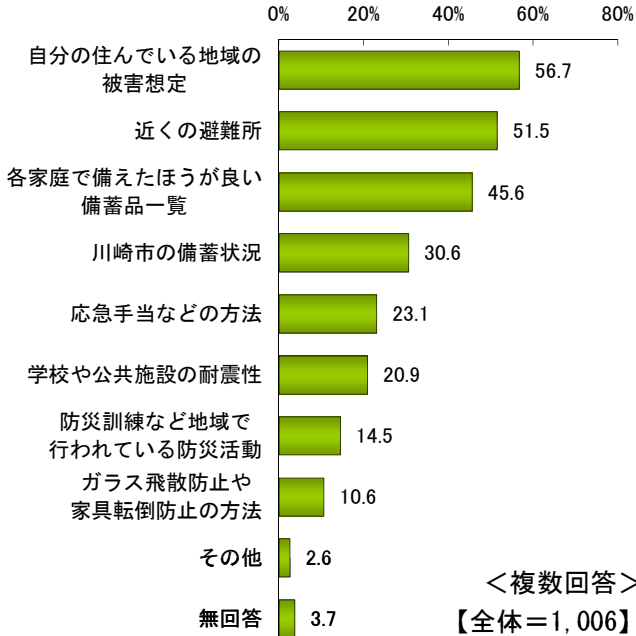
「知りたいが、確認する方法が分からない」(47.6%)が4割を超えて最も高く、次いで「そのうち確認しようと思っている」(28.8%)と続いている。



地域防災について

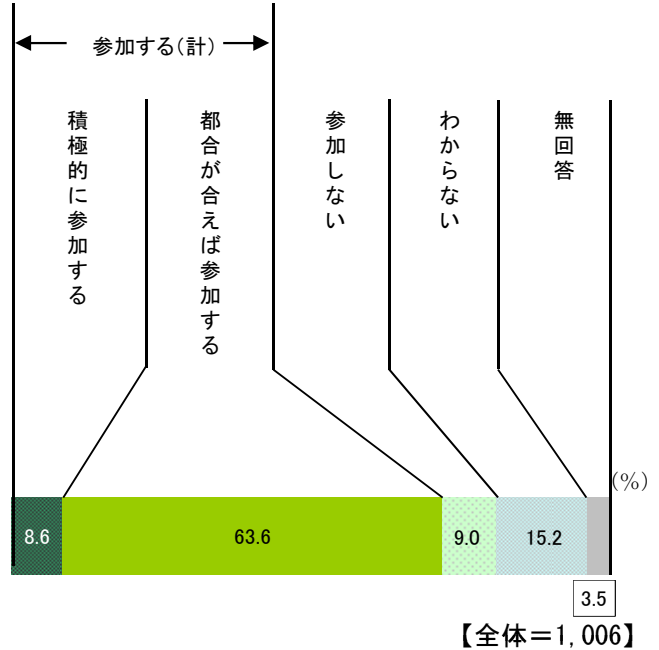
<防災について必要な情報>

「自分の住んでいる地域の被害想定」(56.7%)が最も高く、次いで「近くの避難所」(51.5%)、「各家庭で備えたほうが良い備蓄品一覧」(45.6%)、「川崎市の備蓄状況」(30.6%)、「応急手当などの方法」(23.1%)、「学校や公共施設の耐震性」(20.9%)と続いている。



<防災知識の向上を図る学習会への参加意向>

「積極的に参加する」が8.6%、「都合が合えば参加する」が63.6%、「参加しない」が9.0%、「わからない」が15.2%となっている。また、「積極的に参加する」と「都合が合えば参加する」を合わせた「参加する(計)」は72.2%となっている。



～ 高津区基礎データ ～



高津区の花と木

面積	17.1km ²	(144.35km ²)
世帯数	103,435世帯	(668,768世帯)
人口	219,667人	(1,432,374人)
(男性)	110,779人	(729,748人)
(女性)	108,888人	(702,626人)

平成24年4月1日現在

※かっこ内は川崎市全体データ

